

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	公共下水道浸水対策事業			事業番号	16-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	土木部下水道担当	石塚 俊彦	下水道整備課	芦川 友広	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	4	災害に強い安全なまちづくり	
		施策展開の方向	7	災害から市民のいのちを守るまちをつくる	
		施策	16	被害を最小限に抑える減災対策の推進	
予算事業名	第2号公共下水道管渠整備事業費 第3号公共下水道管渠整備事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	社会資本総合整備計画(伊勢原市民や来訪者が安全で安心できるまちづくり計画)			計画期間	平成26年度から平成30年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	近年の集中豪雨の多発や都市化の進展に伴い、短時間に大量の雨水が流出し、内水氾濫の被害が増大している。				
目的 (何をどうしたいのか)	集中豪雨時の浸水被害の軽減をめざし、浸水被害が多発している地区において、浸水対策を推進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	内水氾濫の被害が頻繁に発生している2地区(板戸、矢羽根川流域地区)				
事業内容 (手段、手法など)	・浸水被害が発生している2地区(板戸、矢羽根川流域地区)の調査・設計、雨水調整池整備などの浸水軽減対策を進めます。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	板戸地区(板戸川第1排水区)	対策工法検討	詳細設計	浸水対策工事	
	矢羽根川流域地区(矢羽根排水区)	調整池整備工事	—	—	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	浸水対策整備済み地区数	3地区 (平成29年度)	4地区	4地区	4地区



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)					
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	板戸地区(板戸川第1排水区)	基本設計			
	矢羽根川流域地区(矢羽根排水区)	工事実施			
実施した取組の内容	板戸地区浸水軽減対策基本設計業務 矢羽根川流域地区浸水軽減対策調整池整備工事				
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度		
	浸水対策整備済み地区数	3地区 (平成29年度)	平成30年度 3地区	令和元年度	令和2年度

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績			
	事業費合計 (a)		74,537	千円			0	千円			0	千円		
	内訳	国県支出金 ①	10,000	千円			0	千円			0	千円		
		地方債 ②	50,200	千円			0	千円			0	千円		
		その他特財 ③	0	千円			0	千円			0	千円		
		一般財源 (a)-①-②-③	14,337	千円			0	千円			0	千円		
	国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金 10,000千円 補助率40%											
	その他特財の内容	受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				前回の改定時期							
		その他												
	人件費	正規職員	0.75	人	6,383	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)	0.75	人	6,383	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)		80,920	千円			0	千円			0	千円		
	単位当たりコスト	対象数	定義	1地区工事/年				単位						
			対象数	2地区工事										
総事業費／対象数		40,460,000	円				円							

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input checked="" type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	C	左記判断理由	板戸川第1排水区の基本設計は完了することが出来た。矢羽根川流域地区の浸水対策調整池整備工事について、平成30年度に完了することができませんでした。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	各自治体で浸水被害が異なるため、一律に比較できません。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	市民の安全・安心を確保するための事業であり、目的を達成することで市民の浸水被害軽減が見込まれる有効性の高い事業です。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	浸水被害を軽減し市民の安全・安心を図るため、計画的に効率の良い事業が実施されました。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	浸水被害軽減対策による効果はありますが、市街化区域の宅地開発や市街化調整区域での農地転用により、従来は地下浸透していた雨水が短時間で排水路等に流出するため、新たな浸水被害が発生してしまいます。
令和元年度の取組方針		板戸地区については、幹線ルートの実施計画を行い、浸水被害の軽減について検討を行います。		
所管部長による総評		近年の異常気象による局所的な豪雨や土地利用の変化から雨水の流出量が増加するなどにより、浸水被害が拡大する状況にあります。市民の生命・財産を守るため、計画的な浸水軽減対策を実施する必要があります。なお、浸水被害の軽減には、被害箇所の状況を調査し、その場所に応じた対策が必要であるため、十分に検討し、速やかに対策を進める必要があります。		